

中筋大宮西入

岡本治助

岡崎町

大塚榮治

御前通下立賣下ル

入江徳三郎

西洞院中立賣下ル

山岡景命

下長者町油小路東入

栗山敬親

岡崎町

小林源兵衛

大宮寺之内一丁下ル西入

富田半兵衛

御前通下立賣下ル

入江太兵衛

下京區

油小路五條上ル

木村勝治郎

大和大路三條下ル

古川爲三郎

西木屋町松原下ル

清水吉右衛門

西木屋町松原上ル

柴田彌兵衛

岩上通錦小路上ル

林長次郎

東木屋町三條下ル

小田佐兵衛

四條河原町西入

辻忠兵衛

五條高倉東入

西井金兵衛

四條通小橋東入

村田榮治郎

四條通寺町東入

能川登

御幸町三條下ル

大貝武布

大宮通八條上ル

堤 彌兵衛

愛宕郡岩倉村字岩倉

藤 木 林 種

葛野郡七條村字唐橋

大藪 重左衛門

紀伊郡吉祥院村

石原 磯次郎

全 郡上鳥羽村

田 中 祐 四 郎

乙訓郡大山崎村字大山崎

川崎 安之助

宇治郡山科村字大宅

山 本 佐 兵 衛

久世郡宇治町字宇治

井 上 豹 太 郎

綴喜郡草内村字草内

古 川 七 三

全 郡八幡町字八幡

奥 繁 三 郎

相樂郡祝園村字祝園

庄田 藤左衛門

南桑田郡龜岡町字安

田中 數之助

北桑田郡山國村字大野

河原 林義雄

船井郡高原村字豊田

山下 虎之助

全 郡新庄村字山室

松本 己之助

何鹿郡中上林村字睦合

福井 矢之輔

天田郡細見村字細見辻

山口 俊一

全 郡上川口村字野花

小田 軌

加佐郡岡田中村字西方

上野 彌一郎

與謝郡上宮津村字小田

上家 祐吉

全 郡加悦町字後野

石川三郎介

中郡五十河村字延利

岡田平左衛門

竹野郡吉野村字芋野

坪倉重和

熊野郡川上村字布袋野

飯室九郎左衛門

明治廿七年二月廿四日

京都府知事 中井 弘

京都府公示第三十三號

鑛業條例施行細則ニ據リ富山縣へ届出方ノ義

別紙ノ通り相定候旨同縣ヨリ通知アリタリ

明治二十七年三月一日

京都府知事 中井 弘

別紙

富山縣令第十四號

明治廿五年三月三農商務省令第六號鑛業條例施行

細則第七條第八條及明治廿六年三月三全省令第八

號砂鑛採取法施行細則第三條ニヨリ當廳ニ差

出スヘキ書類ハ總テ出願地所轄町村役場ヲ經

テ差出ヌヘシ

但明治廿六年^六月^六告示第六十一號ヲ廢止ス

明治二十七年二月二十三日

富山縣知事德久恒範

京都府公示第三十四號

葛野郡撰出府會議員太田茂平辭職ニ付來ル四月十日葛野郡ニ於テ府會議員壹名補欠撰學ヲ行フ

撰學開會ハ午前第九時トシ投票函閉鎖ハ午後第二時トス

明治廿七年三月二日

京都府知事 中井 弘

(印刷府廳前中西活版所)

明治廿七年三月二日

京都府知事 中井弘

第二號

選舉開會ハ平前第其部ハ對票函開之ハ平

月十日莫裡縣ニ於テ初會議員壹名並ニ補欠選舉

京都府公示第三十五號

和歌山縣ニ於テ本年二月三日以來左ノ通炭疽

熱發生候旨通知アリタリ

一名草郡 壹頭

明治廿七年三月二日

京都府知事 中井弘

明治廿七年三月五日

(印刷府廳前 中西活版所)

(印刷所前中西活版所)

明治廿七年三月五日
京都府知事 中井 弘

一、草源 壹頁

燒燬土刻官版映々々々

味爛山繹々々々本平二月三日以來迄々々々

京都府公示第三十六號

衆議院議員左ノ通當撰ス

第一區 坂本則美

第二區 竹村藤兵衛

第三區 安田益太郎

第四區 田宮 勇

第五區 田中源太郎

同 河原林義雄

第六區 神鞭知常

明治廿七年三月五日
京都府知事 中井 弘

(印刷所前中西活版所)

明治廿七年三月五日

京都府知事 中井 弘

(田原 瀬川 中西 等)

- 策一 田原 瀬川
- 策二 田原 瀬川
- 策三 田原 瀬川
- 策四 田原 瀬川
- 策五 田原 瀬川
- 策六 田原 瀬川
- 同 田原 瀬川

京都府公示第三十七號

兵庫縣朝來郡梁瀬村ニ於テ二月二十日二十三
 日各牝牛壹頭炭疽熱ニ罹リ甲ハ即日乙ハ廿四
 日何レモ斃死川邊郡小濱村ニ於テ二月廿二日
 雜種牝牛壹頭牛疫ニ罹リ撲殺候旨通知アリタ
 リ

明治廿七年三月六日

京都府知事 中井 弘

(村)

明治廿七年三月六日

京都府知事 中井 弘

蘇州半壹頭半發ニ册々幾幾刻付取味マレ
日河ノ手廻天川縣小野村ニ於テ二月廿二日
日谷津半壹頭幾幾然ニ册々甲ノ時日心ハ廿四
兵軍編時來派樂備村ニ於テ二月三十日二十

京都府公示第三十八號

本年二月十七日奈良縣式上郡朝倉村大字笠間

ニ於テ牛ノ炭疽熱ニ罹リ斃死シタル旨通知ア

リタリ

明治廿七年三月六日

京都府知事 中井 弘

(村)

昭和廿三年三月六日

京畿部政務中其

一、筑、平、八、地、直、燃、二、割、也、選、派、心、又、ハ、冒、頭、味、
本、年、二、月、十、日、奈、貝、淵、先、上、藩、博、會、林、大、字、選、同、
京、畿、部、政、務、中、其、三、十、八、號

京都府公示第三十九號
當府各撰舉區衆議院議員當撰人左ノ通り確定
ス

第一區

上京區寺町通石藥師下ル染殿町

坂本則美

第二區

下京區新町通五條下ル蛭子町

竹村藤兵衛

第三區

紀伊郡吉祥院村字吉祥院

安田益太郎

綴喜郡普賢寺村字上

(林)

第四區

田宮勇

南桑田郡龜岡町

第五區

田中源太郎

北桑田郡山國村字大野

第五區

河原林義雄

與謝郡石川村

第六區

神鞭知常

明治廿七年三月十二日

京都府知事 中井弘

(印刷 府廳前 中西活版所)

京都府公示第四十二號
府會市部會郡部會正副議長及市部郡部常置委員改撰并明治廿七年度市部警察費收支豫算追加ノ爲メ本月廿六日當廳内ニ於テ臨時府會及市部會郡部會ヲ開ク

明治廿七年三月十三日

京都府知事 中井弘

(印刷 府廳前 中西活版所)

第四編
第五編
（印刷所 中西活版所）

明治廿七年三月十四日

市議會 職權會 等開

職人等之本民廿六日當議内ニ決テ議報會又

員更其與市議會中更市議會實地交際等事

京都府公示第四十三號
與謝郡官津町字新濱六十一番戶

第一號同居

藝名三四 田村 ヨウ

右ノ者へ下付セル藝妓鑑札自宅ニ於テ紛失ノ

旨届出タリ

明治廿七年三月十四日 京都府知事 中井 弘

（印刷所 中西活版所）

(明憲報館中西活版所)

明治廿七年三月十四日 京藩刊政事中共 規

旨風出也

亦く善へ下付すも藝妓鑑林自室ニ就て優美く

藝者三四 田林ニ也

第一報同具

與憲報館刊政事中共規

京都府公示第四十四號
兵庫縣朝來郡ニ於テ本月一日ヨリ五日ニ至ル迄牝牛三頭炭疽熱ニ罹リ斃死セリ又福井縣ハ牛疫豫防ニ關スル昨廿六年九月縣令第四十六號ヲ廢止セル旨通知アリタリ

明治廿七年三月十四日 京都府知事 中井 弘

農事講習所規程

第一條 農事講習所ノ別テ第一期又第二期

十ノ

第二條 第一期講習科目ハ左
(印刷府廳前中西活版所)

(前原報館前中西古書局)

即前廿三年三月十四日

京藩報映事中共 惠

農事講習所ニ關スル批計六平此民課令第四十六
其軍編脚來派ニ就又本民一日正日ニ至
京藩報映示第四十四號

京都府公示第四十號

郡一般

廿七年度ニ於テ開設スル本府農事講習所規程
并ニ生徒心得別冊ノ通

明治廿七年三月十三日

京都府知事 中井 弘

農事講習所規程

第一條 農事講習所ヲ別テ第一期及第二期
トス

第二條 第一期講習科目ハ左ノ如シ

一植物學

一土壤論

一稻作法

一肥料論

右大意

第三條 第一期農事講習所ヲ十八區ニ分テ其

位置及期日ハ左ノ如シ

第一區 熊野郡橋爪村

自四月六日 至全月十八日

第二區 竹野郡溝谷村字溝谷

全上

第三區 中郡河邊村

自四月二十日 至五月二日

第四區 與謝郡府中村

全上

第五區 加佐郡舞鶴町

自七月一日 至全月十三日

第六區 天田郡福知山町

自七月十五日 至全月廿七日

第七區 何鹿郡綾部町字本宮

全上

第八區 船井郡園部町

自七月三十日 至八月十一日

第九區 南桑田郡龜岡町

全上

第十區 北桑田郡周山村字周山

自九月一日 至全月十三日

第十一區 愛宕郡大宮村

自九月十六日 至全月廿八日

第十二區 葛野郡太秦村字太秦

全上

第十三區 乙訓郡向日町

自九月三十日 至十月十二日

第十四區 紀伊郡上鳥羽村

全上

第十五區 宇治郡醍醐村

自十二月十日 至全月廿二日

第十六區 久世郡大久保村字廣野

全上

第十七區 綴喜郡田邊村

第十八區 相樂郡木津町

自廿八年一月八日 至全月廿日

全 上

第四條 第一期講習生ハ年齡十七才以上ニシテ簡易ナル書取ヲ爲シ得ルモノヲ限リ郡農會長ニ於テ實業ニ從事スルモノヨリ推撰シ開場十五日以前當廳ニ届出ツヘシ

但實業ニ從事セサルモノト雖モ郡農會長ノ上申ニヨリ特ニ入場ヲ許可スルコトアリ
第五條 第二期講習科目ハ左ノ如シ

- 一 植物學
- 一 化學大意
- 一 氣象學
- 一 園藝學
- 一 動物飼養論
- 一 土壤改良論
- 一 肥料余論
- 一 家畜衛生法

但時宜ニヨリ變更スルコトアルヘシ

第六條 第二期農事講習所ハ一ヶ所トシ山城國愛宕郡大宮村ニ置キ其期日ハ明治廿八年二月十五日ヨリ三月十六日迄一ヶ月間之レヲ開ク

第七條 第二期講習生ハ第一期習得生中ヨリ

郡農會長ニ於テ推撰シ開場二十日以前當廳ニ届出ツヘシ

第八條 講習時間ハ毎日五時間トス

但時宜ニヨリ伸縮スルコトアルヘシ

第九條 講習ハ総テ口授トシ要点ヲ筆記セシム

第十條 講習生ニシテ講習科目ヲ習得シ試験ニ合格シタルモノハ講習証書ヲ授與ス

第十一條 講習生一身上ノ費用ハ自辨タルヘシ

第十二條 講習生ニシテ怠惰不品行ナルカ或ハ他ノ妨害ヲナスト見認ムルハ退所ヲ命スヘシ

農事講習所生徒心得

第一條 講習中ハ靜肅ヲ旨トシ粗暴譴罵ノ舉動アルヘカラス

第二條 講習生ハ誠實謙恭ヲ以テ人ニ接シ講師及監督者ノ指揮ニ從フヘシ

第三條 講習生病氣其他ノ事故ニヨリ欠席ス

ルキハ其旨開講前ニ届出ツヘシ
第四條 授業中ハ吹烟及相互談話スルヲ禁ス
第五條 器械類ハ總テ叮嚀ニ取扱ヒ若シ官品
ヲ毀損シタルキハ之ヲ辨償セシムヘシ

(印刷 府廳前 中西活版所)

京都府公示第四十一號
鐵道線路測量之爲府下紀伊郡宇治郡へ鐵道局
吏員派出可致旨遞信省ヨリ通知有之候條其旨
心得ヘシ

明治廿七年三月十三日

京都府知事 中井 弘

御用印刷所資合商報會社

庚子年三月十五日

京都府知事 中井 弘

會館... 出願... 併此... 民間... 餘... 京... 京...

京都府公示第四十六號

大阪府住吉郡南百濟村大字中野ニ於テ本月三日牝牛一頭炭疽熱ニ罹リ又兵庫縣朝來郡牧田村ニ於テ本月六日牡牛一頭炭疽熱ニ罹リ何レモ斃死セル旨通知アリタリ

明治廿七年三月十六日

京都府知事 中井 弘

(別冊)

關西聯合會商會

明治廿七年三月十七日 京都府知事 中井 弘

京都府公示第四十七號
本年^{二月十三日}第廿八號ヲ以テ公示セシ石川縣金澤市ニ於テ開設スヘキ第五回關西聯合府縣共進會賣店規則別冊ノ通

京都府公示第四十七號
本年^{二月十三日}第廿八號ヲ以テ公示セシ石川縣金澤市ニ於テ開設スヘキ第五回關西聯合府縣共進會賣店規則別冊ノ通

(別冊)

第五回關西聯合府縣共進會賣店規則
第一條 本會附屬ノ賣店敷地内ニ於テ賣店ヲ設ケントスルモノハ別紙書式ニ倣ヒ來ル五

月十五日限り本人居住ノ地方廳ヲ經テ本會事務所へ願出ヘシ

第二條 數人共同シテ賣店ヲ設ケントスルモ
ノハ第一條ノ手續ニ因リ各連署ノ上願出ヘシ

但本條ノ場合ニ於テハ豫メ總代人ヲ定メ
其氏名届出ヘシ

第三條 賣店ノ許可ヲ受ケタルモノハ本會事
務所ニ就キ場所ノ割渡レヲ受クヘシ

第四條 賣店建築ハ本會開場五日前ニ其工事

ヲ竣工スヘシ

但竣工ノ上ハ本會事務所ノ検査ヲ受クヘ
シ

第五條 賣店建築ハ間口三間奥行三間以内ニ
限ルヘシ

但時宜ニ依リ間口ニ限り特ニ本文制限以
外ニ許可スルコトアルヘシ

第六條 賣店建築其他一切ノ費用ハ自辨タル
ヘシ

第七條 賣店建築ハ本會事務所ノ指揮ヲ受ケ

各屋軒先不揃其他不体裁ナキ様注意スヘシ
但建築後模様替等ニ係ルモノモ本文ニ準
スヘシ

第八條 賣店ノ許可ヲ受ケタル後本會事務所
ニ差出スヘキ願伺届等ハ總テ其府縣委員ヲ
經由スヘシ

第九條 賣店ノ開閉ハ本會開閉ノ時限ニ準ス
ヘシ

第十條 賣店ノ開期ハ本會開場中ニ限ルヘシ
但開店後十五日以内ニ建物取拂口跡地ハ

前形ニ復シ本會事務所ノ検査ヲ受ケ返還ス
ヘシ

第十一條 賣店ハ其店頭ニ何府賣店ト記載シ
タル標札又ハ額ヲ揚クヘシ

第十二條 賣品ハ本會出品ト同種ノモノニ限
ルヘシト雖_レ時宜ニ依リ特ニ他ノ品種ヲ許
可スルコトアルヘシ

第十三條 賣品ハ定價札ヲ貼附スヘシ若シ貼
附シ難キモノハ店頭見易キ場所ニ定價表ヲ

掲クヘシ

第十四條 賣品ハ時々本會委員ニ於テ検査ヲ
ナスコトアルヘシ

第十五條 賣店主ハ賣品ノ種類毎ニ其賣上數
ト金高トヲ記載シタル書面ヲ作り十五日毎
ニ本會事務所へ届出ヘシ

第十六條 賣店ハ本會開閉場及授與式ノ各式
日ニハ國旗ヲ揚ケテ祝意ヲ表スヘシ

第十七條 賣店ニハ晝夜トモ相當ノ看守人ヲ
置クヘシ

第十八條 賣品ハ強賣ニ類スル等ノ所爲ナキ
様深ク注意スヘシ

第十九條 火ノ元及戸締リ等各自嚴密ニ取締
ルヘキハ勿論若シ賣店其他近傍ニ異變アル
トキハ本會事務所へ急報スヘシ

第二十條 各自店前ノ街路ハ勿論時々其周圍
ヲ掃除シ最モ清潔ヲ勉ムヘシ

第二十一條 賣店敷地ハ許可期限中ニ係ルモ
ノト雖モ不得止必要ノ場合ニ於テハ之ヲ返
納セシムルコトアルヘシ

第二十二條 前條ノ外本會事務所ノ指揮ハ總
テ之ヲ遵守スヘシ

(別紙書式)

賣店建設願

何府縣何郡市區町村番地何業

何ノ誰

私儀第五回關西聯合府縣共進會御開設中御附
屬賣店敷地内ニ於テ間口何間ノ賣店ヲ建設シ
左記ノ品種販賣致度尤モ該會ニ關スル諸規則
等確守仕候間右御許可被成下度設計圖面相添

此段奉願候也

右

年月日

何ノ誰印

第五回關西聯合府縣共進會事務長

石川縣知事三間正弘殿

明治廿七年三月十七日

京都府知事中西弘

〇五

(印刷府廳前中西活版所)

即前廿三日十日

京藩報映事中共

記

署へ風出々々々

對發良く前々當職又々最寄警察署同衣署外特
市内土京副警署へ送中ニ於テ数々ハ職出列
本平一月一日日同二日廿八日送内京藩

一開備官吏編票

京藩報映事中共

京都府公示第四十九号

大坂府交野郡招提村ニ於テ本月十日牡牛一頭
炭疽熱ニ罹リ即日斃死ノ旨通知アリタリ

明治二十七年三月十九日

京都府知事 中井 弘

(息)

明治二十七年三月十日
京藩報成事中共
大抵報成津浦鐵道株式會社
京藩報成事第四十號

京都府公示第五十號
大阪市南區高津町九番丁中岡桑次郎畜牛一頭
本月十三日牛疫ニ罹リ斃死シ健牛十一頭ハ豫
防ノ爲メ撲殺スル旨通知アリタリ

明治廿七年三月廿二日
京都府知事 中井 弘

(村)

(林)

明治廿七年三月廿二日

京橋御殿中表

湖ノ鏡ノ鏡券又ハ言証映マセセシ
本氏十三日半遊ニ歸リ鏡券ノ鏡券十一頭ハ新
大洲市南區高野町下中洲本大洲橋十一頭

兵庫縣三原郡神代村ニ於テ本月十二日牝馬壹
頭炭疸熱ニ罹リ十三日斃死セル旨通知アリタ
リ

明治廿七年三月廿四日

京都府知事 中井 弘

(印刷 府廳前 中西活版所)

南桑田郡篠村、全郡保津村、全郡龜岡町、全郡大井
村、全郡千代川村、船井郡吉富村、全郡桐ノ庄村、全
郡園部町、全郡園部村、全郡摩氣村、全郡竹野村、
經テ全郡須知村ニ至ル

(印刷 府廳前 中西活版所)

京都府公示第五十三號
本月廿六日ヨリ開會スヘキ臨時府會、廿七年度
地方稅豫算中土木費追加豫算及ヒ同收入追加
豫算及ヒ道路敷地寄付受領及ヒ京都大津間電
氣鐵道布設ニ關スル諮問并ニ同臨時市部會、道
路敷地寄付受領及ヒ京都大津間電氣鐵道布設
ニ關スル諮問等之諸案ヲ付議ス

明治廿七年三月廿四日

京都府知事 中井 弘

(印刷 府廳前 中西活版所)

(昭陽郡中區西區)

明治廿七年三月廿四日

二關ノハ、諸問等ノ諸案ヲ付録ス

額連此等村受前又ハ京橋大坂間雷塗殿並亦

原殿並亦關ノハ、諸問等ノ諸案ヲ付録ス

經算又ハ、諸問等ノ諸案ヲ付録ス

此等諸村中土木費等、同列ノ諸案ヲ付録ス

本月廿六日ハ、關會ス、ハ、諸問等ノ諸案ヲ付録ス

京都府公示第五十四號

奈良縣宇陀郡政始村大字小和田八番屋敷平民

農大谷岩吉飼牛内國種牡壹頭三月廿三日牛疫

ニ罹リ撲殺シタル旨通知アリタリ

明治廿七年三月廿七日 京都府知事 中井 弘

京都府告示第五十四號

第一條

本府ハ、諸問等ノ諸案ヲ付録ス

第二條

第三條

第四條

(村)

第三條 年中休業日ハ左ノ如シ

第一 但臨時休業ハ其都度之ヲ定ム

第二 孝明天皇祭 一月三十日

第三 紀元節 二月十一日

第四 春季皇靈祭 春分日

第五 神武天皇祭 四月三日

第六 秋季皇靈祭 秋分日

第七 神嘗祭 十月十七日

第八 天長節 十一月三日

第九 新嘗祭 十一月廿三日

日 曜日

夏 期 自七月十六日 至八月三十一日

冬 期 自十二月二十五日 至翌一月七日

學年試業後 一週日以内

第四條 入學ノ期ハ每學年ノ始トス

但學級ニ欠員アル時ハ臨時入學ヲ許ス

アルヘシ

第五條 入學志願者ハ左ノ書式ニ據リ入學願

書並ニ學業履歷書ヲ差出ス

入學願 (美濃野紙ヲ用ユ)

第五日以内ニ保証人二名ヲ定メ本校ノ認可ヲ請クヘシ

但一旦認可シタル保証人ト雖モ事宜ニヨリ之ヲ更ヘシムルコトアルヘシ

第七條 保証人ハ丁年以上ニシテ生徒ノ身上ニ關シ一切ノ事ヲ引受クルニ足ルヘキ者トス

但保証人二名ノ内一名ハ當市内ニ住居スルモノニ限ル
第八條 保証人轉居シタル時ハ其旨速ニ届出

第九條 保証人ハ第六條ノ認可ヲ得タル日ヨリ三日以内ニ左ノ書式ニ則リ保証書ヲ作り之ヲ本校ヘ差出スヘシ

保証書 (美濃野紙ヲ用ユ)

住所族籍職業

何某子弟

姓 名

何年何月何日生

右之者今般御校へ入學御許可相成候ニ付

テハ御規則堅ク可爲相守ハ勿論在學中本
人身上ニ關スル一切ノ事件ハ拙者引請可
申依而保証如此候也

住所族籍職業

保証人 姓 名 印

何年何月何日生

住所族籍職業

保証人 姓 名 印

何年何月何日生

校長何某殿

第十條 入學ノ上己ムヲ得サル事故アリテ半
途退學セント欲スル者ハ其理由ヲ詳記シ保
証人連署シテ出願スヘシ

第十一條 校規ニ觸レ又ハ不都合ノ行爲アル
者ハ其情狀ニヨリ退學ヲ命ス

第十二條 怠惰不品行等ニテ成業ノ見込ナシ
ト認ムル者又ハ試業ニ落第ナルコト引續キ再
度以上ニ及ブ者ハ諭シテ退學セシムルコト
ルヘシ

第十三條 授業料ハ毎月第二土曜ニ本校事務

所へ納ムヘシ條ハ其日以前ニ本對簿

但全月欠席ノ者ト雖本校ニ學籍ヲ有スル

間ハ授業料ヲ徵收ス

第十四條 第四條但書ニ據リ中途ニ入學シタ

ル者ハ入學許可ノ當日ヨリ五日以内ニ其月

ノ授業料ヲ納ムヘシ

第十五條 試業ヲ分テ入學試業臨時試業學

年試業及卒業試業ノ四種トス

第十六條 入學試業ハ生徒募集ノ際第二十五

條第三十條第三十五條ニ規定シタル程度ニ

則リ之ヲ行フモトス

第十七條 臨時試業ハ學年中ニ於テ生徒ノ學

力ヲ審案スル爲メ學科進歩ノ程度ニ從ヒ二

回以上臨時ニ之ヲ行フ者トス

第十八條 學年試業ハ最後學年ヲ除キ每學年

ノ終ニ於テ其學年間履修セシ學科ニ就キ之

ヲ施シ及落ヲ定ムル者トス

但學力優等ノ者ハ臨時ニ特別試業ヲ施シ

昇級セシムルヲアルヘシ

第十九條 卒業試業ハ最後學年ノ學科ヲ修了

セシ後全學科ニ就キ之ヲ施シ學業ノ成績ヲ
 檢定スル者トス
 第二十條 學年及卒業試業ニ於テハ學科及行
 狀点ノ最高ヲ各百点トシ其成績点數四十點
 以上ニシテ總成績点平均數六十點以上ヲ得
 ル者ヲ及第トシ之ニ合格セサル者ハ原級ニ
 止ム
 第廿一條 學年試業及豫科卒業試業合格ノ者
 ニハ第一號ノ證書簡易科卒業試業合格ノ者
 ニハ第二號ノ證書本科卒業試業合格ノ者ニ

ハ第三號証書ヲ授與スルモノトス
 第壹號
 第貳號

校印	族籍
姓名	年齢
何科(第何年級)ノ修業ヲ證ス	
年月日	京都商業學校
番號	

校印	族籍
姓名	年齢
簡易科ノ卒業ヲ證ス	
年月日	京都商業學校
番號	

第參號

族籍

校印

姓

名

年齡

本校ノ教科ヲ履修シ成規ノ試業ヲ經タルヲ以テ全科卒業ヲ証ス

年月日

京都商業學校長

姓

名印

番號

第二章 本科規則

第廿二條 本科ハ第一條規定ノ目的ヲ達センカ爲メ商業上須要ノ學科ヲ授ク

第廿三條 修業年限ハ三ヶ年トス

第廿四條 學業及其程度ハ第一號表ニ據ル

第廿五條 入學ヲ許可スヘキ者ハ身体健全品行方正志望確固ニシテ左ノ一項ニ該當スル者トス

- 一、本校豫科卒業ノ者
- 二、高等小學校四ヶ年ノ學科課程卒業ノ者

（年）

二、高等小學校卒業ノ者ト雖英語ノ一科
一本ニ關シテハ本校豫科ノ程度ヲ參照シ學
力調査ノ上合格ノ者ニアラサレハ入學

三、豫科ノ各科目及其程度ニ據リ施行スル試

業ニ合格ノ者

第廿六條 授業料ハ一ヶ月金壹圓トス

第三章

第廿七條 豫科ハ本科ニ入學セント欲スル者
ニ須要ナル學科ヲ授クル爲メ之ヲ設ク

第廿八條 修業年限ハ一ヶ年トス

第廿九條 學科及其程度ハ第二號表ニ據ル

第三十條 入學ヲ許可スヘキ者ハ身体健全品

行方正志望確固ニシテ左ノ一項ニ該當スル

者トス

一、高等小學校二ヶ年ノ學科課程卒業ノ者

但高等小學校二ヶ年ノ學科課程卒業ノ

者ト雖英語ノ一科ニ關シテハ第四號表

ノ程度ヲ參照シ學力調査ノ上合格ノ者

ニアラサレハ入學ヲ許サス

二、第四號表ノ各科目及其程度ニ據リ施行ス
ル試業ニ合格ノ者

第卅一條 授業料ハ一ヶ月金四拾錢トス

第四章 簡易科規則

第卅二條 簡易科ハ商業ニ關スル學科ノ速成

ヲ望ムモノ、爲メニ之ヲ設ク

第卅三條 修業年限ハ二ヶ年トス

第卅四條 學科及其程度ハ第三號表ニ據ル

第卅五條 入學ヲ許可スヘキ者ハ身体健全品

行方正志望確固ニシテ左ノ一頁ニ該當スル

者トス

一、尋常小學校卒業ノモノ

二、第五號表ノ各科目及其程度ニ據リ施行ス

ル試業ニ合格ノ者

第卅六條 授業料ハ一ヶ月金四拾錢トス

第五章 授業ノ要旨

第卅七條 各學科授業ノ要旨左列如シ

第一 國語漢文

國語漢文ハ誦讀及講義ヲ用ヒテ章句意義

ヲ解釋シ傍ヲ實用ノ文ヲ作ルノ資ニ供セ

シム...

第二 商業作文ハ專ラ實地適切ナル普通書牘ノ

商業作文ハ專ラ實地適切ナル普通書牘ノ

商業作文ハ專ラ實地適切ナル普通書牘ノ

商業作文ハ專ラ實地適切ナル普通書牘ノ

商業作文ハ專ラ實地適切ナル普通書牘ノ

第三 習字ハ楷行草ノ三体ヲ課シ姿勢執筆ニ練

習字ハ楷行草ノ三体ヲ課シ姿勢執筆ニ練

習字ハ楷行草ノ三体ヲ課シ姿勢執筆ニ練

習字ハ楷行草ノ三体ヲ課シ姿勢執筆ニ練

第四 數學

珠算ハ競争法ヲ設ケ專ラ速算暗算ノ術ニ

珠算ハ競争法ヲ設ケ專ラ速算暗算ノ術ニ

珠算ハ競争法ヲ設ケ專ラ速算暗算ノ術ニ

珠算ハ競争法ヲ設ケ專ラ速算暗算ノ術ニ

珠算ハ競争法ヲ設ケ專ラ速算暗算ノ術ニ

珠算ハ競争法ヲ設ケ專ラ速算暗算ノ術ニ

珠算ハ競争法ヲ設ケ專ラ速算暗算ノ術ニ

第五 簿記

簿記

簿記

簿記

簿記

簿記ハ資財出納ヲ明瞭ニシ其成績ヲ示ス
ノ法ニシテ先ツ定義及貸借ノ理ヲ講說シ
次テ單式及複式記入ノ方法ヲ會得セシメ
稍進ンテ商店會社銀行ニ適實ナル取引ノ
例題ヲ與ヘテ適當ノ帳簿ニ記入シ傍ラ商
業書類ノ書式ヲ示メシ又英文ヲ以テ商用
簿記ノ必要ナルモノヲ記入シ以テ内外公
私ノ商務ヲ處理スルニ當リ自在ニ帳簿ヲ
組織シ得ルノ技能ヲ養成セシム

第六 圖畫

圖畫ハ自在畫着色畫用器畫共ニ之ヲ課シ
先ツ範本ヲ與ヘテ臨寫セシメ後商品ノ現
物ヲ把テ之ヲ寫生若クハ着色セシメ將來
物品ノ注文等ニ就キ活用ニ適セシメンコ
ト要ス

第七 經濟
經濟ハ通論ヨリ貨幣銀行貿易爲替租稅等
ニ入り以テ商業上ノ情況ニ通曉シ其原因
結果ヲ會得セシメンコトヲ要ス

第八 法律
法律ハ民法刑法ニ關スル大意ヲ習

法律ハ初メ民法ニ關スル法理ノ大意ヲ授
テ進テ商事ニ關スル各種特別法ヲ參酌シ
テ商法ノ要領ヲ知悉セシムル者トス

第九 商業地理

商業地理ハ内外各國ノ地理形勢、市場、港灣、
物産、交通、運輸、輸出入ノ關係及其要領ヲ授

第十 商業歷史

商業歷史ハ内外各國ニ於ケル商工業ノ盛
衰發達ヨリ通商上ノ要領ヲ講説シ專ラ商

業社會ノ大勢ニ通曉セシモノトテ要ス

第十一 商品

商品ハ天産ト人工トナ問ハス各種商品ノ
品質種類、產地、効用、價格、荷造法等ヨリ需用
供給ノ景況ヲ説明シ兼テ其精粗眞贋ヲ鑑
定スルノ技能ヲ養成セシム

第十二 物理

物理ハ諸力、音響、熱、光、電氣、氣象等ニ關スル
性質原因等ノ最モ實用ニ密接ノ關係アル
部分ヲ授ク

第十三 化學

化學ハ無機、有機ノ大意ヲ授ケ傍ヲ應用及
鑑定法等實地試験ヲ施シ真理變化ノ作用
ヲ會得セシメンコトヲ要ス

第十四 英語

誦讀ハ發音聲ノ抑揚斷續ヲ明カニシ讀音
ヲ正シ兼テ對話作文ノ資料トナスニアリ
譯解ハ語詞章句ノ意義ヲ明カニシ兼テ翻
譯ノ資料トナスニアリ
綴字ハ文字分音ノ區別等ヲ授ケ以テ發音

ヲ正サシム

習字ハ姿勢執筆ノ法ヲ授ケ字形ノ大小結
構ニ注意セシメ務メテ字形明晰運筆快暢
ナラシメンコトヲ要ス
書取ハ單語或ハ章句ノ筆記ニ慣レシメ專
ラ落字誤綴ナキヲ要ス
會話ハ談話ニ熟シ實地ニ臨ミ應用スルノ
技倆ヲ養成スルニアリ故ニ初メ日用簡短
入談話ヨリ商業上慣用言語ヲ教ヘ漸ク
習熟スルニ從ヒ教師又ハ生徒相互ニ對話

活用シ専ラ語勢及狀態等ニ注意シ將來外人ニ接シ縱横自在ニ活用セシメンコトヲ要ス
文法ハ語詞ノ用法格式ヨリ文体ノ組織其他必要ノ法則ヲ授ケ文章ヲ作ルノ資ニ供セシム
作文ハ日用往復文ヨリ漸ク進ムニ從ヒ貿易上ノ通信報告書記事論說文ニ至ル迄最初各様ノ書式文例ヲ授ケ適實ノ題ヲ課シ之ヲ作爲セシメ事理簡明ニシテ語句穩當

第十五 實習

ナルヲ要ス
實習ハ各種商業ノ營業組織ノ事務ヲ詳ニシ専ラ實用ニ適セシメンコトヲ研究スルニアリ其法實踐室内ニ各商店本支店會社代理店銀行稅關郵便電信局等ヲ擬設シ通貨手形用紙商品等ノ摸形ヲ造リ生徒ヲシテ取引上ノ順序方法帳簿記入商品ノ鑑定等ヲ爲サシメ以テ既修ノ學理ヲ應用セシム
是本科三年生徒ニ授クルノ要旨ナリ然レ

此ノ如キハ素ヨリ僅少ノ時日ニ於テ決シテ能クシ得ヘキニアラス依テ第二年生徒ヲシテ第三年ノ科程ニ進ムノ前ニ該科練磨ノ爲メニ必要ナル豫修ヲ爲サシム

第十六 商業要項

簡易科設置ノ趣旨ヲ貫キ卒業生ヲシテ正整ナル商業使用人タルノ技能ヲ知得セシメシムニハ商事ニ關スル各種法規ノ概要ニ就キ授業ヲ受ケシムルコト至要ナリ是レ簡易科ニ商業要項ヲ設ケタル所以ナリ

第十七 体操

体操ハ身体ノ發育ヲ助ケ健康ヲ保全ナラシムルニアリ

第一號表

學科課程表		本科	
國語 漢文 二講	科 目	第一 年	第二 年
	毎 週 時 間 限	毎 週 時 間	毎 週 時 間
讀 一 同 上	第一 年	第二 年	第三 年
	毎 週 時 間	毎 週 時 間	毎 週 時 間
上	上	上	上

實	英	物	化	法	經	圖
習	語	理	學	律	濟	畫
	八	一	二	一	一	一
	書讀、 取、會話、 文法	器械熱電 象等氣	應用及 鑑定法大意	民法 規則	通 論	自在畫着色畫 用器畫
二	八			二	二	
豫	作同			商法 大意	貨幣、銀行、 易、為替、租稅	
習	文上			二	二	
四	八			同	同	
內	同					
外						
國	上			上	上	

商	商業	商業	簿	數	習	商業
品	歷史	地理	記	學	字	作文
	一	一	四	六	二	一
	內	內	和總 文記 簿論	代算 術幾 何算	行草 細字	往復文 記事文 証券文
	國	國	五	四	二	一
二	一	一	英和 文文 記記 簿簿	同	同	同
內	外	外	四	上	上	契約文 上公用文
外	國	國	四	四	一	一
國	一	一	同	商珠 業業 算算 術術	同	論同
二	同	同	同	上	同	說
同	上	上	上	上	上	文上

習	數	簿	地	歷	圖	理
字	學	記	理	史	畫	化
三	四	四	一	一	二	三
三	珠算(四則) 筆算(四則雜題ヨリ比例迄)	總論 普通單式複式記帳	日本地理	內外國歷史	自在畫 着色畫 用器畫	大意

第二號表

商業 作文	讀 書	學 科	每 週 時 間	年 限	豫 科 學 科 課 程 表	合	體
						計	操
一	三	講	一	一	式	二	兵
往	復	文	一	一	同	二	同
一	一	一	一	一	上	二	同
一	一	一	一	一	上	二	同

體操	英語	簿記	數學	習字	商業作文	讀書
二	七	四	五	四	二	四
普通體操	綴字、 解字、 習字、 讀字、	總論、 和文記帳	珠算、 筆算	楷書、 行書	往復文	講讀
二	六	五	五	四	三	三
同上	誦讀、 解會、 習字、 話字、	和文記帳	同上	行書、 草書	同上	同上

(第三號表)

科 目	每 週 年	簡 易 科	學 科 課 程 表	合 計	體 操	英 語
	限			三 三	二	九
第 一 年	每 週 時 間			山 谷 國 語 史	兵 書 式 自 書 棋 書 表	誦 讀、 會 譯 解、 習 字、
第 二 年						法、

商業要項	二	郵便、電信、送金、運送ノ類	二	賣買、貸借、金融、保險ノ類
合計	三〇		三〇	

第四號表

豫科入學試業科目

讀書

外史學要 卷ノ四
松田好生著
商業書 全

作文

往復文

數學

筆算 (四則雜題)
珠算 (加減乘除)

英語

誦讀
綴解
習字

(ナシヨナル第二讀本初メヨリ)
(ナシヨナル第三讀本半バマデ)
(誦讀書ニ依ル)
(ナシヨナル第二讀本終迄)

習字

三體

第五號表

簡易科第一年入學試業課目

讀書

初等讀本

全部

作文

口上書類

習字

楷書 行書

數學 筆算 (加減乘除)

算術 珠算 全書

算術 珠算 全書

算術 珠算 全書

算術 珠算 全書

御用印刷 山本明進堂

京都府公示第五十六號

北桑田郡撰出府會議員河原林義雄辭職ニ付來

ル五月十日北桑田郡ニ於テ府會議員壹名補欠

撰學ヲ行フ 藥劑師 山本清吉

撰學開會ハ午前第九時トシ投票函閉鎖ハ午後

第二時トス

明治二十七年四月二日 京都府知事 中井 弘

明治二十七年四月六日 京都府知事 中井 弘

御用印刷 山本明進堂

數學

筆算

(加減乘除)

〔備用印刷 西曆一千九百零六年 山本明進堂〕

明治二十七年四月二日 京畿視察事 中共 臣

策二劫イヌ

對舉開會ハ平前策此劫イヌ對票函閉應ハ平對
對舉モ行テ

ハ正月十日此桑田縣ニ於テ視會議員壹各縣ハ
此桑田縣對出視會議員何恩林蓬滋賴彌ニ付來
京畿視察示策五十六號

京都府公示第五十七號

南桑田郡一般

南桑田郡龜岡町字新町
十八番戶寄留

藥劑師 山本清吉

明治二十七年四月九日

右之者へ藥用阿片賣買特許ノ處廢業ノ旨届出

タリ

明治二十七年四月六日 京都府知事 中井 弘

〔御用印刷 西曆一千九百零六年 山本明進堂〕

山本明進堂
御用印刷

明治二十七年四月六日 京藩報 中井 弘

明治二十七年四月二日 京藩報 中井 弘

文書會 藥用 賣買 精製 藥業 官出

對準 山本 帶吉

五月十日 北桑田 十八番 寄留 南桑田 瀬川 四宅 南桑田 瀬川 一畑

京藩報 公示 第五十八號

京都府 公示 第五十八號

府下 紀伊 郡 堀内 村 特別 稅 條例 ニ ヨリ 地所 建物

ノ 買得 又 ハ 讓受 セ シ モ ノ ニ 賦課 スル 村 稅 ハ 直

接 稅 ト ス

明治二十七年四月九日 京都府知事 中井 弘

山本 明進堂
御用印刷
矢野 長兵衛

郡部 常務 御用印刷 山本明進堂

山本照堂

四月二十日辛卯日 京藩御取申 中共 取

四月二十日辛卯日 京藩御取申 中共 取

謝辞

買替又ハ難受シキニ知照スルニ付テハ直
御下賜申渡御内林林御取申ニ付テハ御取申

京都府公示第五十九號
今回臨時會ニ於テ市部常置委員郡部常置委員
左ノ適當撰就職セリ

市部常置委員

- | | |
|----|-----|
| 堤 | 彌兵衛 |
| 木村 | 勝次郎 |
| 畑 | 道名 |
| 山岡 | 景文 |
| 矢野 | 長兵衛 |

郡部常置委員

三

京都府知事 中井 弘
 石川 三郎 介
 山本 佐兵衛
 片岡 健之助
 藤木 林種
 野尻 岩次郎
 京都府知事 中井 弘

御用印刷 山本明進堂
 京都府知事 中井 弘

京都府公示第六十號
 府會議員補欠撰舉ノ義公示第五十六號中北桑
 田郡平屋村知井村宮島村大野村鶴ヶ岡町ヲ以
 テ區域トスル平屋村分會場ニ限リ五月九日ヲ
 以テ其撰舉投票ヲ行フ撰舉開會并投票函閉鎖
 時間ハ本會ニ同シ
 來ル五月三十日迄ニ當廳ヘ差出スヘ
 明治二十七年四月九日 京都府知事 中井 弘
 御用印刷 山本明進堂

明治二十九年四月十日 京藩報 賦事 中共 地

善キキヤ否キ審査、其事由キ悉申スヘキ

川津園具ニ付テハ、類齊集賦限前四割ニ關シ

來ハ五月三十日迄ニ當ルハ送出スヘキ

明治二十九年四月十日 京藩報 賦事 中共 地

官廳言省ニ付テハ、賦賦官之知割其官心算ヘキ

賦員吏員出題類類割ニ付テハ、土賦ニ立入ルヘキ

丹對園中付理類理三津内繼並類類賦量之爲繼

京藩報 公示 第六十二號

京都府公示第六十三號

今般内閣ニ於テ京都市下京區五條寺町ヨリ七
條通鹽小路町ニ至ル道路改修工事ハ公共ノ利
益ノ爲必要ト認定土地收用法ニヨリ之ヲ收用
スルヲ許可セラレタリ其收用スヘキ土地ノ

細目左ノ通

- 一京都市下京區五條通リ寺町行當リ御影堂前
- 町八百五拾貳番地ノ内宅地西橋詰町七百九
- 拾七番地宅地七百九拾八番地宅地間ノ町通
- リ上珠數屋町下ル打越町三百貳拾番地ノ内

宅地同通 下珠數屋町下之材木町四百九拾
八番地以内宅地百廿八番地字數間ノ田畠
四百八十五番地
明治二十七年四月十一日
京都府知事 中井弘

一 京都市下京區正剗通
購目式ハ
益ノ爲ニ必要ト認定土地收用法
今般内閣ニ於テ京都市下京區齋藤町道路開鑿
工事ハ公共ノ利益ノ爲ニ必要ト認定土地收用法
ニヨリ之ヲ收用スルヲ許可セラレタリ其收
用スルニキ土地ノ細目左ノ通

京都市下京區四條通西石垣下ル齋藤町第百
拾九番宅地第百廿七番宅地第百廿八番宅地
第百廿九番宅地

明治二十七年四月十一日 京都府知事 中井弘

御用印刷 山本明進堂

宅地同通り下珠數屋町下
（所用印圖） 山本明進堂

八番地内宅地
（開普二十五年四月十一日） 京藩訊取事 中共 弘

第百廿八番字地 京都府知事 中井弘

合此番字地第百廿八番字地

一京藩市下京區四新區西區下區

用々へ牛土賦く際日式く賦

ニエリ文キ地用々ム「キ指西キニキリ其地

工事ハ公共く味益く爲必要ト臨宝土賦地用去

今娘内閣ニ就キ京藩市下京區靈麴田區開墾

京藩訊公示第百六十四號

京都府公示第六十五號

兵庫縣下朝來郡牧田村及與布土村ニ於テ客月

三十日牡牛各壹頭炭疽熱ニ罹リ斃死セル旨同

縣ヨリ通知アリタリ 即日斃死

知アリタリ 京都府知事 中井弘

明治二十七年四月十一日

（別紙） 縣令第二十一號

明治廿五年二月農商務省令第六號

行細則第七條及明治二十六年三月府令第八

號

御用印刷 山本明進堂

山本明進堂

明治二十七年四月十一日

京藩報 賦事 中共 郎

第百廿七番字賦

京藩報 賦事 中共 郎

一京藩市下京國四對紙西下屋下

一京藩市下京國四對紙西下屋下

一京藩市下京國四對紙西下屋下

三十日抄半谷壹頭刈紙燦ニ歸リ纏取シヨ旨同

兵車纏可障來漑神田林又與亦土林ニ紙々容且

京藩報 公示 第六十五號

京都府公示第六十六號

大坂府下西成郡川南村大字市岡ニ於テ本月一

日牝牛一頭炭疽熱ニ罹リ即日斃死シタル旨通

知アリタリ

明治二十七年四月十二日

京都府知事 中井 井弘

(別紙)

縣令第二十一號

明治廿五年三月農商務省令第六號鑛業條例施

行細則第七條及明治二十六年三月同省令第八

號砂鑛採取法施行細則第三(御用印刷)山本明進堂

明治二十七年四月十二日

京都府知事 中井 弘

賦
て
り
と
り

日
半
一
煎
宛
直
燻
ニ
對
シ
鳴
日
渡
派
ニ
シ
ル
旨
嚴

大
近
津
下
西
河
津
川
南
村
大
宅
市
岡
ニ
於
テ
本
民
一
京
府
知
事
公
示
第
六
十
六
號

京都府公示第六十七號

静岡縣及青森縣ヨリ鑛山試堀採堀出願ニ關ス
ル届出方別紙ノ通縣令發布シタル旨通知アリ

明治二十七年四月十二日

京都府知事 中井 弘

(別紙)

縣令第二十一號

明治廿五年^三農商務省令第六號鑛業條例施

行細則第七條及明治二十六年^三同省令第八

號砂鑛採取法施行細則第三條ニ依リ當廳へ

差出スヘキ書類ハ總テ其出願地町村役場ヲ
經テ差出スヘシ即廿二十六平三同審會八
但出願地ハ區域二町村以上ニ涉ルモ以テ
其重ナル町村役場ヘ差出スヘシ

（明治二十七年四月三日）

静岡縣知事 小松原英太郎

縣令第十五號

鑛業條例施行細則及砂鑛採取法施行細則ニ
ヨリ當廳ヘ届出ヘキ書類ハ其出願地所轄ノ
町村役場及郡市役所ヲ經テ差出スヘシ
（明治二十七年四月六日） 青森縣知事 佐和 正

京都府公示第六十八號

明治二十七年三月當府公示第三十四號府會議
員補欠員左ノ通當撰就職セリ大隊區徵兵參事
員一名補闕撰擧ナリ 葛野郡嵯峨村字上嵯峨

撰擧開會ハ同日午前九時井上投與兩一郎

日午後二時 明治二十七年四月十六日

京都府知事 中井 弘

明治二十七年四月十八日

京都府知事 中井 弘

御用印刷 山本明進堂

差出スヘキ書類ハ總テ其ノ備用印圖

經テ差出スヘシ

但出願地ノ區域ニ町村以上ニ涉ルモ以テ

明治二十七年四月十六日 京藩 森中 共

明治二十七年四月二日 静岡縣知事 小松原英太郎

縣令第十五號 共 土 興 一 源

礦業條例施行細則及砂採取法施行細則ニ

員辭吹員式ハ適當對照

即廿二十日申三民當報公示策三十四號

京藩報公示策六十八號

京都府公示第六十九號 改撰セシニ左ノ通督撰

船井郡撰出大隊區徵兵參事員近藤環辭職ニ付

本年五月廿三日船井郡ニ於テ大隊區徵兵參事

員一名補闕撰擧ヲ行フ 木村 勝次郎

撰擧開會ハ同日午前九時トシ投票函閉鎖ハ同

日午後二時トス

明治二十七年四月十九日 京都府知事 中井 弘
明治二十七年四月十八日 京都府知事 中井 弘

御用印
山本明進堂

明治二十七年四月十八日 京藩領事 中共

日 予 發 二 朝 一 日 京 藩 領 事 中 共

對 舉 開 會 八 同 日 予 前 此 朝 共 對 票 函 閉 廳 八 同

員 一 各 縣 關 對 舉 七 行 共 對 票 函 閉 廳 八 同

水 平 正 月 廿 三 日 離 共 准 二 次 大 瀨 國 燭 兵 參 事

離 共 准 對 出 大 瀨 國 燭 兵 參 事 員 並 離 對 舉 續 續 二 林

京 藩 領 事 公 示 第 六 十 九 號

京 都 府 公 示 第 七 十 號

今 般 旅 管 徵 兵 參 事 員 ヲ 改 撰 セ 左 ノ 通 當 撰

就 職 セ リ

明 治 二 十 七 年 四 月 二 十 四 日 京 都 府 知 事 中 井 弘

山 岡 景 命

木 村 勝 次 郎

山 本 佐 兵 衛

石 川 三 良 介

明 治 二 十 七 年 四 月 十 九 日 京 都 府 知 事 中 井 弘

御用印刷
山本明進堂

山本明進堂

明治二十七年四月十八日

京藩政事中共

日午發二物

三頁介

對舉開會八同日午前六物

山本武兵衛

員一各縣開對舉

木林親次郎

木平正良廿三日

山岡景壽

源謙子

今強巡警員參事員也如對

京都府公示第七十一號

奈良縣下葛上郡ニ於テ牡牛一頭炭疽熱ニ罹リ

斃死セシ旨通知アリ

明治二十七年四月二十四日

京都府知事 中井 弘

明治二十七年四月二十四日

京都府知事 中井 弘

御用印刷 山本明進堂

京都府知事 山本明進堂

明治二十七年四月十八日

京都府知事 中共

明治二十七年四月十六日

山本 式兵衛

明治二十七年四月十四日

山本 式兵衛

明治二十七年四月二十四日

京都府知事 中共

發派シテ旨紙賦テリ

奈夏繰下葛土漕ニ就テ掛半一兩宛並熾ニ歸

京都府公示第七十二號

本年^本當府公示第六十一號海軍兵志願者願書

差出期日五月三十日トアルヲ五月五日ニ繰上

ク

明治二十七年四月二十五日

京都府知事 中井 弘

明治二十七年四月二十四日

京都府知事 中井 弘

御用印刷 京都五條通 山本明進堂

〔備用印刷 山本明進堂〕

四月廿二日 京藩 中井 弘

四月廿二日 京藩 中井 弘

差出 四月廿三日 正日 二 縣土

本平 當 示 六十一 一 志 願 善

京藩 示 示 十二 總

京都府 公示 第七十三號

兵庫縣 下 二 方 郡 照 來 村 ノ 内 中 辻 村 ニ 於 テ 牡 牛

壹 頭 炭 疽 熱 ニ 罹 リ 斃 死 セ シ 旨 通 知 ア リ タリ

明治二十七年四月二十五日 京都府知事 中井 弘

明治二十七年四月二十五日 京都府知事 中井 弘

〔前紙〕

縣令 第廿九號

〔御用印刷 山本明進堂〕

山本明進堂

明治二十七年四月二十五日 京藩報 中井 弘

壹頭炭竈燦ニ翻リ變テヤ旨亟咲テハ
兵車繰下ニ式濶照來林ノ内中長林ニ筑テ掛斗
京藩報公示第廿十三號

京都府公示第七十四號
京都府公示第七十五號
府下加佐郡倉梯村字濱西村太右衛門飼養沙壯
熊本一頭本月十八日炭疽熱ニ罹リ即日斃死
旨届出タル旨通知アリタリ

明治二十七年四月二十八日 京都府知事 中井 弘
明治二十七年四月二十五日 京都府知事 中井 弘

(別紙)

縣令第廿九號

鎖業條例施行細則及砂鑛採取法施行細則ニ依
リ當廳ニ届出ヘキ書類ハ其出願地所轄ノ町村

役場及郡役所ヲ經テ差出之出願狀河津ノ田林
明治二十七年四月二十八日 熊本縣知事松平正直ニ對
聯合報廿九號

(照錄)

明治二十七年四月二十八日 京藩報取事 中井 弘
命發亦ニモヨ旨嚴賦マリ
行購願ニモヨ出ハテ書發差出衣服及文書
前本報ニモヨ業續行購願及
京藩報公示發ハ十五號

御用印刷 山本明進堂

京都府公示第七十七號

京兵庫縣下八部郡林田村ノ内東尻池村ニ於テ牝
牛壹頭炭疽熱ニ罹リ斃死セシ旨通知アリ原々通り

建仁 明治二十七年四月二十八日 京都府知事 中井 弘

明治二十七年五月八日 京都府知事 中井 弘

御用印刷 山本明進堂

役場及郡役所ヲ經テ差出スル
〔御用印 山本明進堂〕

明治二十七年四月二十日 熊本縣知事 松平正直

〔御用印 山本明進堂〕

四月二十日 四月二十八日 京藩報 中井 弘

半壹圓 炭 宜 燻ニ 對シ 總 取 下 旨 販 取 マ リ 又
兵 車 繰 下 入 階 階 林 田 林 内 東 風 断 林 ニ 就 テ 井
京 藩 報 公 示 第 七 十 九 號

京都府 公 示 第 七 十 九 號

京都府 公 示 第 七 十 八 號 竹 田 村 ニ 於 テ 各 月 二 十
當 府 松 原 警 察 署 本 月 七 日 京 都 市 下 京 區 松 原 通
建 仁 寺 町 東 へ 入 弓 矢 町 ニ 移 轉 セ リ

明治二十七年五月八日 京都府知事 中井 弘

〔御用印 山本明進堂〕
〔御用印刷 山本明進堂〕

〔御用印刷 山本明進堂〕

四月二十日 京藩報 中井 弘

致二書 四東へ入付 関 四ニ 録 轉シ

當報 恐 報 警 察 署 本 日 子 日 京 藩 市 下 京 國 恐 報 販

京 藩 報 公 示 第 十 八 號

京都府 公示 第七十九號

兵庫縣 下 但 馬 國 朝 來 郡 竹 田 村ニ 於テ 客 月 二十

四 日 牡 牛 一 頭 炭 疽 熱ニ 罹リ 斃 死セシ 旨 通 知ア

付 本 年 六 月 二十 二 日 紀 伊 郡ニ 於テ 大 隊 醫 生 兵

参 事 員 一 名 補 欠 撰 舉ヲ 行フ

同日 午 後 二 時 ト ス

明治 二十 七 年 五 月 十 日 京 都 府 知 事 中 井 弘

〔御用印刷 山本明進堂〕

〔御用印刷 山本明進堂〕

明治二十七年五月八日

京藩報 取事 中共 取

四日掛半一題炭並燦ニ歸レ續取子ニ旨並取
兵車繰下掛熟園博來漑竹田林ニ就テ容月二十
京藩報公示第百一十號



京都府公示第八十一號

〔御用印刷 山本明進堂〕

京都府公示第八十號
紀伊郡撰出大隊區徵兵參事員青山良輔辭職ニ
付本年六月二十二日紀伊郡ニ於テ大隊區徵兵
參事員一名補欠撰舉ヲ行フ
撰舉開會ハ同日午前九時トシ投票函閉鎖ハ
同日午後二時トス
京都府知事 中井 弘

明治二十七年五月十日

京都府知事 中井 弘

〔御用印刷 山本明進堂〕

〔御用印刷 山本明進堂〕

明治二十七年五月十日 京藩報 取事 中共 取

同日平翁二朝イヌ

對舉開會 同日平前此朝イヌ 對票函閉館ハ

參事員一各辭欠對舉セ行テ

於本平六日二十二日 縣用派ニ就テ大瀨國齋兵

縣用派對出大瀨國齋兵參事員青山夏輔 齋齋ニ

京藩報公示策八十號

京都府公示第八十一號

來明治二十七年四月當府公示第五十六號府會議

員補欠員左ノ適當撰就職セリ檢定ヲ執行ス

但來ル 六月十五日北桑田郡鶴ヶ岡町字豐郷ル

土生 保五郎

京都府知事 中井 弘

明治二十七年五月十七日

〔御用印刷 山本明進堂〕

〔御用印刷 山本明進堂〕

明治二十七年五月十日

京藩報取事 申共 記

同日午時二刻
開會二十七年五月十日
京藩報取事 申共 記

對學開會
同日午時二刻
對學開會
土坐 羽正 頂

參事員一谷 齋次 齋藤 孝行
北桑田 源齋 岡田 宇豐 齋
竹本 平六 氏 二十二日 齋藤 孝行 齋藤 孝行 齋藤 孝行

員齋次員 五ノ 並當對 齋藤 孝行
京即廿二十七年四月廿四日當報公示 第五十六號 報會 齋
京藩報公示 第八十一號

京都府公示 第八十二號

來ル 六月二十六日午前第八時ヨリ當廳ニ於テ
尋常小學校本科正准教員臨時檢定ヲ執行ス
但來ル 六月十五日迄ニ出願ノモノニ限ル

明治二十七年五月二十二日 京都府知事 中井 弘

〔御用印刷 山本明進堂〕

〔御用印〕 山本明進堂

明治二十七年五月二十二日 京藩報 中井 弘

印來「六月十五日」出願「子」ニ別々

尋常小學對本採五筆選員調制劍宝キ辨付テ
來「六月二十六日」午前八時「」當願ニ就テ
京藩報公示第八十二號

京都府公示第八十三號

兵庫縣下二方郡大庭村ニ於テ本月五日牝犢一
頭罹斯性炭疽熱ニ罹リ同七日斃死セシ旨通知
アリタリ

別 明治二十七年五月二十二日 京都府知事 中井 弘

縣令第三十三號

登種取締規則左ノ通り相定メ本年六月一日ニ
其施行ス
但明治二十年一月縣令甲第五號同年九月告示第
百八十二號ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

〔御用印〕 山本明進堂

藤田卯圃 山本明齋堂

明治二十七年五月二十二日 京藩報 中 共 記

京藩報 告示 第八十三號
與軍總下二式准大竊林ニ就テ本月五日并發一
旨通知アリタリ

京都府公示第八十四號
今般新潟縣ニ於テ蠶種取締規則別紙ヲ通發布
ノ旨通知アリタリ
明治二十七年五月二十四日 京都府知事 中井受弘
別紙
縣令第三十三號
蠶種取締規則左ニ通り相定メ本年六月一日ヨリ
施行ス
但明治二十年一月縣令甲第五號同年九月告示第
百八十二號ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

明治二十七年五月十六日 新瀉縣知事籠手田安定

蠶種取締規則 令甲第百五號 同日告示

第一條 蠶種ヲ製造シ若クハ賣買セントスル

蠶種ハ總テ此規則ニ遵フヘキ事六月一日

第二條 蠶種製造ヲ業トシ又ハ蠶種ヲ販買セ

ル者ハ蠶絲業組合組長ノ連署ヲ以

テ郡市役所ヲ經縣廳ヘ願出鑑札ヲ受クヘシ

鑑札ハ製造鑑札販賣鑑札ノ二種ニ區別ス販

賣者ニシテ行商ノ爲メ外出スルトキハ鑑札

ヲ携帯スヘシ

第三條 蠶種ハ總テ縣廳ノ検査ヲ受クヘシ其

検査証印ナキモノ又ハ不合格ノ証印アル蠶

種ハ賣買又ハ飼育スルヲ得ス

他府縣産ノ蠶種ト雖トモ本縣管内ニ於テ賣

買スル者ハ縣廳ノ検査ヲ受ヘシ

第四條 蠶種ヲ製造スル者ハ各原種ノ掃立蛾

數並ニ製造見込額ヲ豫定シ自家用ト販賣用

トヲ區別シ其年三月三十一日迄ニ蠶絲業組

合事務所ヲ經テ縣廳ニ届出ヘシ

第五條 蠶種検査所ハ縣廳内ニ之ヲ設ケ管内

樞要ノ地ニ支所ヲ置ク支所ノ位置ハ其時々
告示スヘシ

第一條 但地方ノ狀況ニヨリ巡回検査ヲ爲スル
アルヘシ

第六條 蠶種検査支所ハ九月一日ニ開キ十一
月三十日之ヲ閉ツ

但製糸用蠶種検査ハ九月一日ヨリ原種用
蠶種検査ハ十月一日ヨリ施行ス蠶種ハ各
閉所期日前二十日迄ニ検査支所ニ差出ス

第七條 販賣用蠶種ノ製造ハ蠶兒ノ掃立ヨリ

收繭ニ至ルマテ蠶種検査員ヲシテ時々監査
ヲ爲サシムヘシ

監査ヲ經スシテ飼育セシ收繭ハ蠶種ヲ製造
シ又ハ原繭トシテ賣買スルヲ得ス

同巧繭、變形繭、薄繭、汚繭ハ原繭ト爲スコトヲ
得ス

第八條 蠶種ノ製造ハ框製普通製ノ二種トシ
原種ハ總テ框製ニ限ル
蠶種原紙ノ表面ニ春夏秋ノ種別及小石丸、又

昔等ノ名稱ヲ記シ裏面ニ製造人ノ住所氏名
又ハ會社組合等ノ名稱ヲ記シタル印章ヲ押
捺シ原種用ト製糸用種トヲ區別スヘシ

第九條 框製蠶種ニハ其産卵ノ符合ヲ明瞭ニ
記シタル母蛾ヲ添付スヘシ之ヲ添付セサル
モノハ普通製ノ例ニヨリ検査ス

第十條 蠶種ノ検査ハ肉眼鑑定、顯微鏡視察ノ
二法トシ顯微鏡視察ハ左ノ規定ニ據リ施行
シ肉眼鑑定ノ法ハ追テ相定ム
一 框製蠶種ノ母蛾無毒ノモノニシテ原種用

種ハ原種用ノ証印ヲ製糸用種ハ無毒ノ証
印ヲ病毒アルモノハ廢棄ノ証印ヲ其框内
ニ押捺シ其裏面ニ検査証印ヲ押捺ス
一 普通製蠶種ハ有毒百分ノ九以下ノモノニ
製糸用検査証印及歩合ヲ記入シタル印章
ヲ押捺シ其以上ノモノニハ不合格ノ証印
ヲ押捺ス

第十一條 第八條第二項ノ規定ニ據ラスシテ
製造シタル蠶種ニハ検査ヲ與ヘス
第十二條 一枚ノ蠶種ヲ截斷シテ販賣セント

欲スル者ハ豫メ裏面ニ截斷スヘキ區畫ノ線
ヲ付シ差出スヘシ
截斷スヘキ蠶種ニアラサルモノヲ截斷シテ
賣買讓與又ハ讓受スルコトヲ得ス

第十三條 蠶種製造ヲ業トシ又ハ蠶種ヲ販賣
スルモノ其業ヲ廢スルカ他ノ管轄地ニ寄留
又ハ轉籍シタルトキハ蠶糸業組合事務所並
ニ郡市役所ヲ經テ其旨ヲ縣廳ニ届出鑑札ヲ
返納スヘシ

第十四條 本則第二條第三條第七條第二項及

第十二條第二項ニ違フモノハ貳圓以上拾圓
以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 蠶種検査証印ヲ定ムル左ノ如シ
原種用検査証印 圓形徑一寸五分 朱文字

(新潟縣原種用検査ノ証)

製糸用種検査証印 橢圓形 縱一寸八分 橫一寸 朱文字

(新潟縣製糸用種検査ノ証)

歩合証印 長方形 縱一寸五分 中二分 朱文字

(病毒百分 分新潟縣)

不合格証印 橢圓形 縱一寸八分 橫一寸 黑文字

(新潟縣検査不合格ノ証)

框製証印

原種用証 圓形徑三分 朱文字 (原種用証)

無毒証 圓形徑三分 朱文字 (無毒証)

廢棄証 長方形 長三分 中二分 黑文字 (廢棄証)

附則

本則第四條ノ届出ハ本年ニ限リ六月十五日迄

トシ第七條ハ當分其施行ヲ延期ス

〔御用印刷 山本明進堂〕

京都府公示第八十九號
德島縣ニ於テ砂礫採取ニ關スル書類取扱方ニ
付京都府公示第八十六號

明治二十七年^四月本府公示第六十九號大隊區徵
兵參事員補闕員左ノ通當選就職セリ

船井郡胡麻郷村大字上胡麻

木 戸 豊 吉

德島縣令第二十三號

明治二十七年五月三十日 務省 京都府知事 中井取弘 施

行細則第三條ニ該當スル書類ハ該物所在地ノ
市役所又ハ町村役場ヲ經進達ス

〔御用印刷 山本明進堂〕

（新瀨縣檢査不合格ノ証）
（備用印 山本興盛堂）

拒製証印

原用証 圓形徑三分 京瀨印 取事用中共 取

無毒証 圓形徑三分 朱文字（無毒証）

廢棄証 長三分 中二分 黑文字（廢棄証） 豐吉

附則

池井源 陸麻 濑林 大字 土 陸麻

其... 關員式... 當... 關員... 十五日迄
即... 二十... 年... 本... 示... 第六十... 大... 大... 大...
京瀨印 公示 第八十六號

京都府 公示 第八十九號
德島縣ニ於テ砂鑛採取ニ關スル書類取扱方ニ
付別紙之通縣令發布相成候旨通知アリタリ

明治二十七年六月一日 京都府知事 中井 弘

別紙

德島縣令第二十三號

明治二十六年農商務省令第八號砂鑛採取法施行細則第三條ニ該當スル書類ハ鑛物所在地ノ市役所又ハ町村役場ヲ經進達スヘシ

本令 明治二十七年六月一日ヨリ施行ス

明治二十七年五月二十六日 德島縣知事村上義雄

德島縣令第二十六号 德島縣令第二十三号

德島縣令第二十三号

眼珠

明治二十七年六月一日

京都府知事 中井 弘

京都府公示第九十號

本府醫學學校規則中左ノ通改正ス

明治二十七年六月一日

京都府知事 中井 弘

一 第一條中「二十五年以下」ノ六字ヲ削ル

一 第五條ヲ左之通改ム

第五條 依願退學及除名セラレタルモノニ

シテ原級以下ニ再入學ヲ請フモノハ許可ス

ルコトアルヘシ

一 第十一條第二欸第三項ヲ獨逸語學ト改メ元

第三項ヲ第四項ト改ム

一第十二條及第十三條ヲ左之通改ム

第十二條 凡テ不都合ノ行爲アリト認定セ

シモノハ放校ニ處ス

一但本府明治二十七年二月丙第二十二號第

三項ニヨリ放校ニ處セラレタル者ハ文部

大臣ニ由リ情狀ヲ酌量シテ特免ヲ予ヘラ

ル、ノ外復校ヲ許サス

第十三條 左ノ各項ニ當ルモノハ除名スル

第一 授業料ヲ納メサルモノ

第二 第三章試業則第二十七條悖戾セシ

モノ

第三 第三章試業則第四十二條後項ノ試

業ヲ受ケ落第セシモノ同第四十四條ノ

再試業ヲ受ケ尙及第スル能ハサルモノ

一 元第十三條ヲ第十四條ト改メ以下三十三條

迄順次條數ヲ繰下ク

一 第十六條但書中第十二條第二項トアルヲ第

十三條第一項ト改ム

一第三十四條ヲ削除ス
 一第四十五條証狀ヲ左ノ通改ム

卒業證

府縣族籍

何

某

生年月

右者京都府醫學校成規ノ學科ヲ脩メ卒業試業ヲ
 卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

解剖學	教諭(學位)姓	名印
局所解剖學	同	同
組織學	同	同

生理學	同	同
裁判醫學	同	同
外科論理及實驗	同	同
眼科論理及實驗	同	同
藥物學	同	同
衛生學	同	同
右ノ内科論理及實驗	同	同
婦人科產科論理及實驗	同	同

年月日 京都府醫學校長學位姓名印

御用印刷 山本明進堂

第三十四條ヲ削除ス

一 廣田山本明進堂

第四十五條証狀ヲ左ノ通收ス

辛巳日 卒業 京濱私習學社是學立拔各由

識人將丞將備野又實劍 同府縣族籍同

内保備野又實劍 同 何同 某

滿 半 學 同 同 生年月

右者京濱私習學校成規ノ同學科ヲ修同卒業試案

卒ノ頭保備野又實劍之ヲ證ス 同 同

依保備野又實劍 同 同 名印

兼同族 習學 同 同

半 照 同 同

京都府公示第九十一號

明治二十六年十月一日 京都市上京區油小路通上長者町下ル

四回内閣勸業博覽會 龜屋町八番戶 書并三 同 年 九 月 八

日博覽會事務局告示第一號 澤口會富太郎三

條出品解説者ハ所轄郡區役所 藝名 一 守 差

右ノ者へ下付セル遊藝稼人兼師匠鑑札紛失ノ

旨届出タル事 京都府知事 中井 弘

明治二十七年六月一日 京都府知事 中井 弘

御用印刷 京都五條通 西橋院東入 山本明進堂

〔御用印〕
西條正徳
山本明進堂

明治二十六年六月一日 京滯報 職事 中 共 規

旨 出 出

古く香へ下付す。並藝人兼司鑑林録夫、

藝 谷 一 守

署 口 富 太 順

離島四八番目

京滯市土京國町小根蔵土長善四下

京滯報 公示 第 九 十 一 號

京都府 公示 第九十二號

明治二十六年本府告示第百七十七號ニ係ル第

四回内國勸業博覽會出品願書并ニ同年九月八

日博覽會事務局告示第一號博覽會規則第十三

條出品解説者ハ所轄郡區役所ヲ經由當廳へ差

出本縣令第七十二號

明治二十七年六月二日 京都府知事 中井 弘 取 締

規則左ノ通改正ス

明治二十七年五月二十七日 栃木縣知事 佐藤 暢

一 蠶種取締規則

〔御用印刷〕
山本明進堂

山本民堂

明治二十七年六月一日

京都府知事 中井 弘

出... 新出品... 日... 四回... 即... 京...

京都府公示第九十三號

栃木縣蠶種取締規則改正及蠶種檢查所位置規程等別紙之通同縣ヨリ通知アリタリ

明治二十七年六月五日 京都府知事 中井 弘

(別紙)

栃木縣令第七十二號

明治二十七年二月 栃木縣令第二十二號 蠶種取締規則左ノ通改正ス

明治二十七年五月二十七日 栃木縣知事 佐藤 暢

蠶種取締規則

第一條 此規則ニ於テ蠶種ト稱スルハ原種用種及製絲用種ニシテ越年セシムルモノヲ謂

第二條 蠶種製造者ハ餘付ヲ爲シ又ハ左ニ掲

(限一) 製絲用ノ目的ニテ飼養シタル繭

一 各種固有ノ形体ヲ失ヒ大小不同ノ繭

同功繭

薄皮繭

一 縮翅禿毛シタル蛾

第三條 蠶種ハ框製普通製ノ二種トシ原種用

種ハ框製ニ限ル

第四條 蠶種ニハ其原紙ノ表面ニ春夏秋冬ノ種

別及小石丸又昔等ノ種類ヲ記入シ裏面ニ製

造者ノ住所氏名ヲ記シタル印章ヲ押捺スヘ

第五條 蠶種ハ此規則ニ據リ検査ヲ受ケ検査

證印ヲ得タルモノニアラサレハ本縣内ニ於

テ賣買授受又ハ飼養スルコトヲ得ス

DE

第六條 買蠶種ノ検査ハ出願ノ順序ニ依ル

第七條 原種用種ハ親蛾ヲ検査シ無毒ナルモ

製入ヲ合格トス但親蛾ヲ添付セサルモノハ製

絲用種トシテ検査ス

製絲用種ハ微粒子毒百分ノ五ヲ超過セサル

モノヲ合格トス

第八條 蠶種ニシテ第三條第四條ノ規定ニ違

ラモノハ検査ヲ與ヘス

第九條 合格ノ蠶種ニハ検査證印ヲ不合格ノ

蠶種ニハ廢棄證印ヲ押捺ス

但原種用種ニ限リ一蛾毎ニ原種用製絲用又

ハ廢棄ノ證印ヲ押捺ス

第十條 蠶種検査證印ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 蠶種ノ裏面ニ押捺スルモノ

橢圓形 縱一寸五分 横八分 文字

長方形 縱一寸四分 横七分 文字 廢棄之證

二 原種用種框製一蛾毎ニ押捺スルモノ

圓形徑三分 文字 原種用

圓形徑三分 文字 製絲用

第六條 長方形 長三分 中二分 文字 廢棄

第十一條 第二條第五條ニ違フモノハ二圓以
上十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 明治二十年三月 栃木縣令第三十一號
蠶種檢査規程ヲ廢止ス

告示第四百四十二號

第一條 蠶種檢査所ハ左ノ二箇所ニ設置ス
河内郡 宇都宮町

下都賀郡 栃木町

第二條 蠶種ノ檢査ハ毎年九月十五日ニ始シ
十一月三十日ニ終ハルモノトス

第三條 蠶種ノ檢査ヲ請ハント欲スルモノハ
左ノ書式ノ願書ヲ蠶種ニ添ヘ本人又ハ代人
檢査所ニ差出スヘシ但原用種ニハ親蛾ヲ添
付スヘシ

(書式)

原用種製絲 用種ノ別	種別	種類	名稱	製造區別	數量
春夏秋ノ別			小石丸又昔等 ノ名稱	框製普通製ノ 別	枚數

七日以内ニ其旨鑛山所在地郡役所ヲ經由届出
ツヘシ但出願寫書類ニ異動ヲ生シタルトキハ
届書ニ該寫書ヲ添付スヘシ

宮崎縣令第四十號 明治二十七年五月二十九日

明治廿七年三月三宮崎縣令第十五號中許可ノ下ヘ

「若クハ無効ノ通知」ノ八字及得ノ下ヘ又ハ却下
セラレ」ノ七字ヲ挿入追加ス但本年三月以降既
ニ該處分ヲ受ケタルモノハ此際直ニ届出ツヘ

庶務課 第一九號

御用印刷 山本明造堂

京都府公示第九十五號
今般小學校教員免許狀ヲ授與シ候補者名籍ニ
登録セシモノ左ノ如シ

明治二十七年六月八日 京都府知事 中井 弘

同	同	同	同	小學校本科正教員	鳥取縣士族	上島 常藏
同	同	同	同	大坂府平民	西岡 景太良	
同	同	同	同	京都府士族	秋田 大次郎	
同	同	同	同	京都府平民	田守 キ	
同	同	同	同	京都府士族	中大島 錦三郎	

